

## 平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年2月8日

上場取引所 東

上場会社名 大林道路株式会社

コード番号 1896 URL <http://www.obayashi-road.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石井 哲夫

問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 下村 泰久

四半期報告書提出予定日 平成22年2月10日

TEL 03-3618-6500

配当支払開始予定日

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	52,072	3.9	1,536		1,455		720	
21年3月期第3四半期	54,167		675		723		564	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	15.46	
21年3月期第3四半期	12.10	

## (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	76,781	23,660	23,660	30.8	30.8	507.98
21年3月期	76,168	23,096	23,096	30.3	30.3	495.72

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 23,660百万円 21年3月期 23,096百万円

## 2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期				3.00	3.00
22年3月期					
22年3月期 (予想)				6.00	6.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 有

(注) 平成22年3月期期末配当金(予想)の内訳 普通配当 3円00銭 特別配当 3円00銭

## 3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	95,400	3.1	2,530	78.8	2,430	78.0	1,320	271.3	28.34

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無  
新規 社 (社名 ) 除外 社 (社名 )
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有  
(注)詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】 4.その他 をご覧ください。

- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)  
会計基準等の改正に伴う変更 有  
以外の変更 無  
(注)詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】 4.その他 をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第3四半期	46,818,807株	21年3月期	46,818,807株
期末自己株式数	22年3月期第3四半期	240,384株	21年3月期	226,197株
期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第3四半期	46,584,444株	21年3月期第3四半期	46,611,638株

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 平成21年5月13日に公表いたしました連結業績予想のうち、通期について本資料において修正しております。
- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等について、及び上記1に係る業績予想の具体的修正内容は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 3. 連結業績予想に関する定性的情報 をご覧ください。

(参考) 個別業績予想

平成22年3月期の個別業績予想(平成21年4月1日~平成22年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	95,000	3.1	2,500	79.9	2,400	79.4	1,300	286.9	27.91

(注) 個別業績予想数値の当四半期における修正の有無: 有

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

個別業績予想については、現時点における入手可能な情報に基づいており、実際の業績は、様々な要因により予想値と異なる可能性があります。

## 定性的情報・財務諸表等

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第 3 四半期（9 ヶ月）におけるわが国経済は、企業収益の大幅な減少や依然厳しい雇用情勢ではあるものの、輸出はアジア向けを中心に増加しており、生産や個人消費は持ち直しの動きが続いています。しかしながら、物価は緩やかなデフレ状況にあり、雇用情勢の一層の悪化や海外景気の下振れ懸念など景気を押下げるリスクも存在してまいりました。

道路建設業界におきましては、政府の経済対策による公共工事は堅調に推移しましたが、企業の設備投資は下げ止まりつつあるものの大幅に減少し、厳しい受注環境が続きました。

このような状況の下で、当社グループは、工事受注量及び製品販売量の確保に努めてまいりましたが、受注高は前年同期と比べ1.0%減の620億 2 千 1 百万円、売上高は前年同期と比べ3.9%減の520億 7 千 2 百万円となりました。

利益につきましては、工事部門、製品部門等におけるコスト管理の徹底と一般管理費の削減等により、売上総利益は前年同期と比べ18億 9 千 2 百万円増の50億 7 千 4 百万円、経常利益は21億 7 千 9 百万円増の14億 5 千 5 百万円となりました。

四半期純利益につきましては、前年同期と比べ12億 8 千 4 百万円増の 7 億 2 千万円となりました。

### 2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第 3 四半期連結会計期間末の資産・負債の状況については、工事の完成引き渡しや、工事施工高が第 4 四半期に集中するといった季節的変動要因により、第 3 四半期の売上高や工事施工高は比較的低調に推移し、工事繰越高が大きくなる傾向にあるため、資産については、「受取手形・完成工事未収入金等」が減少したものの「未成工事支出金」が増加したことなどから、前連結会計年度末に比べ 6 億 1 千 3 百万円増の767億 8 千 1 百万円にとどまりました。

負債については、「支払手形・工事未払金等」が減少しましたが、「未成工事受入金」が増加したため、前連結会計年度末に比べ 4 千 9 百万円増の531億 2 千万円にとどまりました。

当第 3 四半期連結会計期間末の純資産合計は、四半期純利益を計上したことから、前連結会計年度末に比べ 5 億 6 千 4 百万円増の236億 6 千万円となりました。

#### （キャッシュ・フローの状況）

当第 3 四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、順調に売上債権の回収が推移したことにより営業キャッシュ・フローが増加した結果、期首と比較して18億 9 千 9 百万円増加し、118 億 7 百万円（前年同期比83.4%増）となりました。

#### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

建設事業での工事の完成引渡し及び施工が第 4 四半期連結会計期間に集中するといった季節的変動要因により売上高が低調な時期であります。順調に売上債権の回収が推移したため、売上債権が大きく減少したことと未成工事受入金の増加により、営業活動によるキャッシュ・フローは41億 5 千 1 百万円のプラス（前年同期は20億 2 千 5 百万円のプラス）となりました。

#### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

アスファルト混合所設備の更新等の固定資産の取得に伴う支出により、投資活動によるキャッシュ・フローは 9 億 3 千 8 百万円のマイナス（前年同期は 9 億 4 千 9 百万円のマイナス）となりました。

#### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

長期借入金の返済と配当金の支払いにより、財務活動によるキャッシュ・フローは13億 1 千 1 百万円のマイナス（前年同期は12億 9 千 8 百万円のマイナス）となりました。

### 3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年 3 月期の業績予想につきましては、厳しい経済環境の中、売上高につきましては、当初の見通しを下回り954億円（前年同期比 3.1%増）となる見込みですが、利益につきましては、工事部門、製品部門等におけるコスト管理の徹底等により、当初の見通しを大きく上回り、営業利益は25億 3 千万円（前年同期比 78.8%増）、経常利益は24億 3 千万円（前年同期比78.0%増）、当期純利益は13億 2 千万円（前年同期比 271.3%増）となる見込みです。

期末配当予想につきましては、業績予想の修正を行ったことに伴い、普通配当 3 円00銭に加え、特別配当 3 円00 銭を上乗せし、1 株当たり 6 円00銭の配当といたしたいと存じます。

詳細につきましては、別途本日公表の「通期業績予想の修正および配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

簡便な会計処理

・一般債権の貸倒見積高の算定方法

一般債権の貸倒見積高の算定方法については、前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度決算において算定した貸倒見積率を使用しております。

・固定資産の減価償却費の算定方法

減価償却の方法として定率法を採用している固定資産の減価償却費については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定しております。

四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

・完成工事高及び完成工事原価の計上基準の変更

請負工事に係る収益の計上基準については、従来、工事完成基準を適用しておりましたが、「工事契約に関する会計基準」（企業会計基準第15号 平成19年12月27日）及び「工事契約に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第18号 平成19年12月27日）を第1四半期連結会計期間より適用し、第1四半期連結会計期間に着手した工事契約から、当第3四半期連結会計期間末までの進捗部分について成果の確実性が認められる工事については工事進行基準（工事の進捗率の見積りは原価比例法）を、その他の工事については工事完成基準を適用しております。

これにより、売上高は7,013百万円増加し、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ182百万円増加しております。

5 . 四半期連結財務諸表  
 ( 1 ) 四半期連結貸借対照表

( 単位 : 百万円 )

	当第 3 四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年 3 月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	11,807	9,908
受取手形・完成工事未収入金等	22,032	31,865
有価証券	-	20
販売用不動産	17	17
未成工事支出金	19,288	10,905
材料貯蔵品	399	339
その他	2,305	2,344
貸倒引当金	34	48
流動資産合計	55,817	55,352
固定資産		
有形固定資産		
土地	11,759	11,740
その他(純額)	5,390	5,304
有形固定資産合計	17,149	17,045
無形固定資産	264	279
投資その他の資産		
その他	4,140	4,115
貸倒引当金	590	625
投資その他の資産合計	3,550	3,490
固定資産合計	20,963	20,815
資産合計	76,781	76,168

(単位：百万円)

	当第 3 四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年 3 月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	25,892	29,857
短期借入金	5,300	6,400
未払法人税等	55	817
未成工事受入金	11,850	6,223
完成工事補償引当金	47	54
工事損失引当金	720	900
その他	2,937	2,497
流動負債合計	46,802	46,750
固定負債		
再評価に係る繰延税金負債	2,044	2,044
退職給付引当金	4,079	4,096
その他	194	179
固定負債合計	6,318	6,320
負債合計	53,120	53,071
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	6,293	6,293
資本剰余金	6,095	6,095
利益剰余金	11,284	10,704
自己株式	49	47
株主資本合計	23,624	23,046
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	71	85
土地再評価差額金	34	34
評価・換算差額等合計	36	50
純資産合計	23,660	23,096
負債純資産合計	76,781	76,168

( 2 ) 四半期連結損益計算書  
( 第 3 四半期連結累計期間 )

( 単位 : 百万円 )

	前第 3 四半期連結累計期間 (自 平成20年 4 月 1 日 至 平成20年12月31日)	当第 3 四半期連結累計期間 (自 平成21年 4 月 1 日 至 平成21年12月31日)
売上高	54,167	52,072
売上原価	50,985	46,997
売上総利益	3,182	5,074
販売費及び一般管理費	3,857	3,538
営業利益又は営業損失 ( )	675	1,536
営業外収益		
受取利息	25	7
受取配当金	6	4
受取手数料	-	7
技術指導料	16	6
持分法による投資利益	0	-
その他	19	3
営業外収益合計	68	30
営業外費用		
支払利息	97	78
持分法による投資損失	-	12
その他	18	21
営業外費用合計	116	111
経常利益又は経常損失 ( )	723	1,455
特別利益		
固定資産売却益	10	2
貸倒引当金戻入額	17	22
補助金収入	-	14
その他	8	1
特別利益合計	36	40
特別損失		
固定資産売却損	3	0
固定資産除却損	50	51
その他	23	10
特別損失合計	78	62
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失 ( )	765	1,433
法人税、住民税及び事業税	85	477
法人税等還付税額	37	-
法人税等調整額	249	235
法人税等合計	201	713
四半期純利益又は四半期純損失 ( )	564	720

## ( 3 ) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

( 単位 : 百万円 )

	前第 3 四半期連結累計期間 (自 平成20年 4 月 1 日 至 平成20年12月31日)	当第 3 四半期連結累計期間 (自 平成21年 4 月 1 日 至 平成21年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失 ( )	765	1,433
減価償却費	968	968
貸倒引当金の増減額 ( は減少 )	41	49
退職給付引当金の増減額 ( は減少 )	33	17
受取利息及び受取配当金	31	12
支払利息	97	78
持分法による投資損益 ( は益 )	0	12
売上債権の増減額 ( は増加 )	14,358	9,823
未成工事支出金の増減額 ( は増加 )	9,602	8,381
仕入債務の増減額 ( は減少 )	6,118	3,964
未成工事受入金の増減額 ( は減少 )	4,032	5,627
未払消費税等の増減額 ( は減少 )	452	954
その他	513	899
小計	3,075	5,461
利息及び配当金の受取額	43	12
利息の支払額	95	86
法人税等の支払額	1,035	1,236
法人税等の還付額	37	-
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,025	4,151
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	1,013	926
有形固定資産の売却による収入	27	4
投資有価証券の取得による支出	-	20
投資有価証券の償還による収入	-	20
その他	37	16
投資活動によるキャッシュ・フロー	949	938
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 ( は減少 )	1,100	200
長期借入金の返済による支出	-	1,300
リース債務の返済による支出	55	68
自己株式の取得による支出	3	2
配当金の支払額	139	139
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,298	1,311
現金及び現金同等物に係る換算差額	2	1
現金及び現金同等物の増減額 ( は減少 )	224	1,899
現金及び現金同等物の期首残高	6,664	9,908
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,439	11,807

## (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第 3 四半期連結累計期間（自平成20年 4 月 1 日 至平成20年12月31日）

	建設事業 (百万円)	製造・販売他 事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	44,447	9,720	54,167	-	54,167
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	4,639	4,639	(4,639)	-
計	44,447	14,360	58,807	(4,639)	54,167
営業利益又は営業損失( )	453	556	1,009	(1,685)	675

当第 3 四半期連結累計期間（自平成21年 4 月 1 日 至平成21年12月31日）

	建設事業 (百万円)	製造・販売他 事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	41,815	10,256	52,072	-	52,072
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	4,852	4,852	(4,852)	-
計	41,815	15,108	56,924	(4,852)	52,072
営業利益	538	2,601	3,139	(1,603)	1,536

(注) 事業区分の方法及び各区分に属する主要な事業の内容

## (1) 事業区分の方法

日本標準産業分類及び連結損益計算書の売上集計区分を勘案して区分しております。

## (2) 各事業区分に属する主要な内容

建設事業：舗装、土木、建築工事その他建設工事全般に関する事業

製造・販売他事業：アスファルト合材等舗装用材料の製造・販売に関する事業他

## 〔所在地別セグメント情報〕

前第 3 四半期連結累計期間（自平成20年 4 月 1 日 至平成20年12月31日）及び当第 3 四半期連結累計期間（自平成21年 4 月 1 日 至平成21年12月31日）

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び在外支店がないため、該当事項はありません。

## 〔海外売上高〕

前第 3 四半期連結累計期間（自平成20年 4 月 1 日 至平成20年12月31日）

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

当第 3 四半期連結累計期間（自平成21年 4 月 1 日 至平成21年12月31日）

海外売上高がないため、該当事項はありません。

## (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## 「参考」 四半期個別財務諸表

## ( 1 ) 四半期貸借対照表

( 単位 : 百万円 )

	当第 3 四半期会計期間末 (平成21年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,594	9,748
受取手形	5,227	5,201
完成工事未収入金	14,233	23,072
売掛金	2,536	3,527
有価証券	-	20
販売用不動産	17	17
未成工事支出金	19,281	10,845
材料貯蔵品	399	339
その他	2,307	2,339
貸倒引当金	34	48
流動資産合計	55,562	55,064
固定資産		
有形固定資産		
土地	11,759	11,740
その他(純額)	5,364	5,286
有形固定資産合計	17,124	17,027
無形固定資産	263	278
投資その他の資産		
その他	4,144	4,105
貸倒引当金	590	625
投資その他の資産合計	3,554	3,480
固定資産合計	20,942	20,786
資産合計	76,504	75,850

(単位:百万円)

	当第 3 四半期会計期間末 (平成21年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>		
支払手形	11,951	12,727
工事未払金	10,922	13,141
買掛金	2,967	3,947
短期借入金	5,300	6,400
未払法人税等	52	810
未成工事受入金	11,848	6,180
完成工事補償引当金	47	54
工事損失引当金	720	900
その他	2,928	2,495
流動負債合計	46,739	46,658
<b>固定負債</b>		
再評価に係る繰延税金負債	2,044	2,044
退職給付引当金	4,079	4,096
その他	194	179
固定負債合計	6,317	6,320
負債合計	53,057	52,979
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	6,293	6,293
資本剰余金	6,095	6,095
利益剰余金	11,071	10,478
自己株式	49	47
株主資本合計	23,410	22,820
<b>評価・換算差額等</b>		
その他有価証券評価差額金	71	85
土地再評価差額金	34	34
評価・換算差額等合計	36	50
純資産合計	23,447	22,871
負債純資産合計	76,504	75,850

(注) この四半期貸借対照表は、四半期財務諸表等規則に基づいて作成していますが、法定開示におけるレビュー対象ではありません。

## ( 2 ) 四半期損益計算書 ( 第 3 四半期累計期間 )

( 単位 : 百万円 )

	前第 3 四半期累計期間 ( 自平成20年 4 月 1 日 至平成20年12月31日 )	当第 3 四半期累計期間 ( 自平成21年 4 月 1 日 至平成21年12月31日 )
売上高		
完成工事高	44,242	41,663
製品売上高	9,707	10,255
売上高合計	53,949	51,918
売上原価		
完成工事原価	41,914	39,436
製品売上原価	8,922	7,459
売上原価合計	50,837	46,896
売上総利益		
完成工事総利益	2,327	2,226
製品売上総利益	784	2,796
売上総利益合計	3,112	5,022
販売費及び一般管理費	3,813	3,489
営業利益又は営業損失 ( )	701	1,532
営業外収益		
受取利息	24	7
受取配当金	18	6
手数料収入	-	7
技術指導料	16	6
その他	19	3
営業外収益合計	79	31
営業外費用		
支払利息	97	78
その他	18	21
営業外費用合計	116	99
経常利益又は経常損失 ( )	739	1,464
特別利益		
固定資産売却益	10	2
貸倒引当金戻入額	17	22
補助金収入	-	14
その他	5	1
特別利益合計	33	40
特別損失		
固定資産売却損	3	0
固定資産除却損	50	51
その他	21	10
特別損失合計	75	62
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 ( )	780	1,442
法人税、住民税及び事業税	76	475
法人税等還付税額	37	-
法人税等調整額	250	235
法人税等合計	211	710
四半期純利益又は四半期純損失 ( )	568	732

( 注 ) この四半期損益計算書は、四半期財務諸表等規則に基づいて作成していますが、法定開示におけるレビュー対象ではありません。

## 6. その他の情報

## (1) 個別業績の概況

平成22年3月期第3四半期の個別業績(平成21年4月1日~平成21年12月31日)

個別経営成績(累計)

( %表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	51,918	3.8	1,532	-	1,464	-	732	-
21年3月期第3四半期	53,949	-	701	-	739	-	568	-

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	15.72	-
21年3月期第3四半期	12.20	-

個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	76,504	23,447	30.6	503.40
21年3月期	75,850	22,871	30.2	490.88

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 23,447百万円 21年3月期 22,871百万円

(注) 上記の個別業績は、四半期財務諸表等規則に基づいて作成していますが、法定開示におけるレビュー対象ではありません。

## (2) 個別受注の実績

平成22年3月期第3四半期の個別受注実績(平成21年4月1日~平成21年12月31日)

(百万円未満切捨て)

	受注高	
平成22年3月期第3四半期累計期間	61,898百万円	0.5%
平成21年3月期第3四半期累計期間	62,217百万円	15.2%

(注) パーセント表示は、前期比増減率

受注実績内訳

(百万円未満切捨て)

区 分	平成22年3月期 第3四半期		平成21年3月期 第3四半期		比較増減 (百万円)	増減率 (%)
	受注高 (百万円)	構成比 (%)	受注高 (百万円)	構成比 (%)		
工 事 部 門	国内官公庁	21,519	34.7	14,252	7,267	51.0
	国内民間	30,123	48.7	38,257	8,134	21.3
	海 外	-	-	-	-	-
	計	51,643	83.4	52,510	867	1.7
製 品 部 門	10,255	16.6	9,707	548	5.7	
合 計	61,898	100	62,217	318	0.5	